



仮想現実で
住まい体験

第1回

2026年
5月16日(土)

工学部・建築学科
准教授 馬淵 大宇

夢のマイホームに試住する！？
— VRが変える住まい手と
協働する住宅づくり —



子供も大人也大歓迎！

岡山理科大学 市民公開講座

山の寺子屋で学ぼう！



ロボドリル

大人気！
今年も開催！

第5回

2027年
3月13日(土)

工作センター
工学部・機械システム工学科
准教授 寺野 元規

ものづくり体験！
～コインのつくり方今・昔～



恐竜って
何食べてたの？

第2回

2026年
7月11日(土)

生物地球学部・恐竜学科
教授 加藤 敬史

恐竜は何を食べていたか？
～恐竜と哺乳類の歯でさぐる
進化の秘密～



時間 13時30分～15時

会場 本学(一部現地集合)

参加費 無料(予約制・先着順です)

講座情報、参加申し込み方法、
受付開始日は右記 QR コードから
ご確認ください。



何が
見えるかな？



現地
集合

第4回

2026年
11月21日(土)

生物地球学部・生物地球学科
教授 福田 尚也

岡山188cm反射望遠鏡で
探る変光星

ゴリラの
糞って
どんなの？



第3回

2026年
10月3日(土)

理学部・動物学科
教授 竹ノ下 祐二

ゴリラと人々の暮らしを守る



主催：岡山理科大学
共催：浅口市教育委員会

後援：岡山市、倉敷市、浅口市、岡山県市長会、岡山県町村会、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会

お問い合わせ
窓口

岡山理科大学

研究・社会連携部

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
TEL:086-256-9731
E-mail:renkei@ous.ac.jp
<https://renkei.office.ous.ac.jp/>



岡山理科大学
ホームページ

講座内容

2026年5月16日(土)

夢のマイホームに試住する!?

— VRが変える住まい手と協働する住宅づくり —

車を買う前に試乗するのは当たり前。では、これから何十年も暮らす「住まい」は、なぜ試せないのでしょうか。

これまで家づくりでは、モデルハウスを見学したり、SNSで写真を探したり、図面やCGを見ながら「きっとこんな感じだろう」と想像するしかありませんでした。けれど、実際に暮らし始めてから「思っていたのと違う」と感じた経験を耳にすることも少なくありません。

いま、その常識が大きく変わろうとしています。身近になった高性能VR(仮想現実)技術によって、まだ建っていない住まいの中を、等身大で歩き、見て、感じることができる時代が到来しました。本講座では、建築主と設計者がVRを使いながら一緒に住まいをつくり上げた実際の事例をご紹介します。さらに、抽選で2名の方にVRを体験していただき、参加者の皆様と一緒に「想像する家」から「体感する家」へと進化する、次世代の住まいづくりを実感していただけます。未来の住まいづくりをのぞいてみませんか?



募集人数
15組

2026年7月11日(土)

恐竜は何を食べていたか?

～恐竜と哺乳類の歯でさぐる進化の秘密～

はるか昔に絶滅し、その生きた姿を誰も見たことのない恐竜たち。しかし、古生物学者は「この肉食恐竜は・・・」、「植物食のイグアノドンは・・・」などと、あたかも見てきたかのようにその食性を語ります。単に「歯が鋭いから肉食!」と単純に決めているのでしょうか?

この講義では、私たちが目にしたこと



ない太古の生物が何を食べていたのか、その謎を解く方法と、「歯」の形から機能や進化的な系統関係を推測する手法について解説します。また、実物の哺乳類の骨格標本や恐竜のレプリカを用い、古生物学者がどのような視点で化石を観察しているのか、そのポイントを分かりやすく紹介します。

募集人数
25組

2026年10月3日(土)

ゴリラと人々の暮らしを守る

募集人数
20組

ゴリラはわたしたちヒトに近縁な大型類人猿のなかまですが、人間活動に圧迫され絶滅の危機に瀕しています。

ゴリラを保護するためには、長期野外研究によってかれらの生態や行動を明らかにすることに加え、危機的状況を脱するための具体的で現実的な解決策を探る必要があります。

そのいずれの活動にも、ゴリラの生息域に暮らす地域住民との協働が欠かせません。

講演では、わたしたちが行っている野生ゴリラの野外研究と、ゴリラ保護の取組を紹介します。

ゴリラの糞の分析や個体識別にも挑戦してもらいます。野生動物や国際協力に興味がある方の参加をお待ちしています。



2026年11月21日(土)

岡山188cm反射望遠鏡で探る変光星

現地集合

募集人数
20組

国立天文台の188cm反射望遠鏡は共同利用望遠鏡の役目を終え、東京科学技術大学(旧東京工業大学)を中心としたユーザーグループと浅口市と国立天文台による運営が行われています。

科学観測はユーザーグループ主体の運営となりました。岡山理科大学も地元の大学として運営に参画することになりました。小型望遠鏡との違い、岡山理科大学のグループが188cm反射望遠鏡を使った観測の成果についてお話しします。

※集合場所は、浅口市の岡山天文博物館です。



2027年3月13日(土)

ものづくり体験!

～コインのつくり方今・昔～

普段何気なく手にしているコイン(硬貨)が、どのような工程で作られているかご存知ですか?

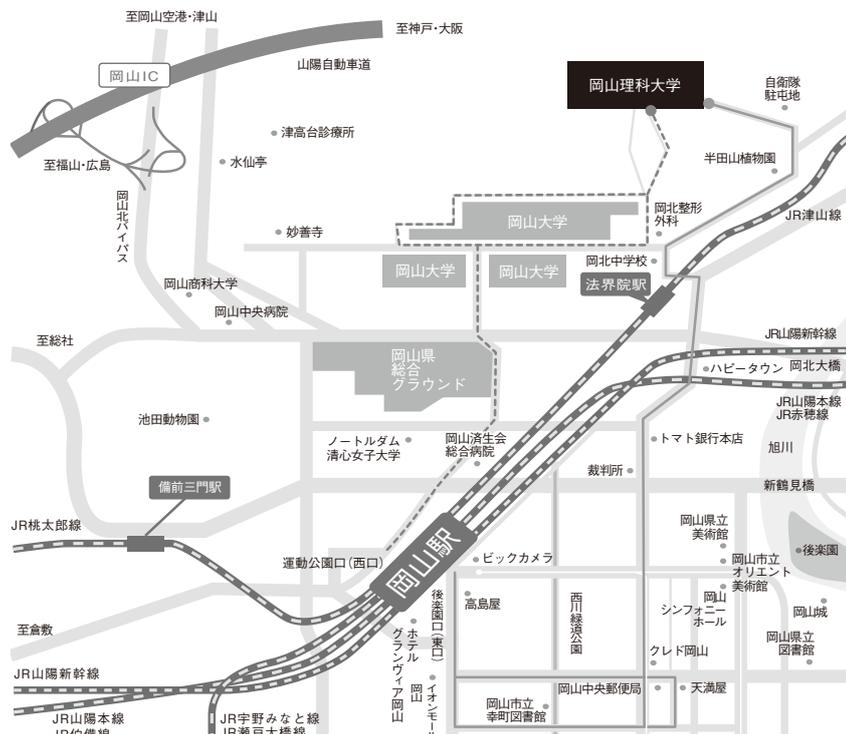
本イベントでは、記念メダル作りを通して、知られざるコインの製造方法を分かりやすく解説します。また、会場となるワークショップ(サイエンスドリームラボ)では、普段は見ることのできない最新鋭の加工機械を用いた実演や、実際に機械を操作する体験も実施します。

さらに、参加者は体験・作製物の持ち帰り可能です。なお、安全確保のため、当日は長袖・長ズボン・運動靴(サンダル・ハイヒール禁止)を着用し、汚れても良い服装でご来場ください。



募集人数
25名

アクセス



[路線バス]
 - 運動公園口(西口)⇄岡山理科大学
 - 後楽園口(東口)⇄岡山理科大学東門

- 正門着: JR岡山駅 運動公園口(西口)22番乗り場から岡電バス「47 岡山理科大学」行で約20分
- 東門着: JR岡山駅 後楽園口(東口)13番乗り場から岡電バス「37 岡山理科大学東門」行で約30分
- JR法界院駅から徒歩約20分
- 岡山インターチェンジから車で約15分

バス時刻表はこちらから▼

